

視覚障害者情報センター運営委員会記録

1. 日 時 平成 30 年 12 月 6 日 (木) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 場 所 新潟ふれ愛プラザ研修室 (新潟市江南区亀田向陽 1-9-1)
3. 出席者
 - (1) 委 員 井川亨子 (県立図書館・副館長)
井上克己 (新潟県視覚障害者友好協議会・会員)
大島光芳 (新潟県中途視覚障害者連絡会・会長)
鯉江初子 (音訳ボランティア代表)
斎藤義樹 (県視覚障害者情報センター・センター長)
佐藤裕子 (点訳ボランティア代表)
吉田浩 (新潟県視覚障害者福祉協会・会員) 50 音順
委員代理 木村弘美 (新潟県視覚障害者福祉協会・副理事長)
 - (2) オブザーバー 長崎真理 (新潟県福祉保健部障害福祉課主査)
 - (3) 事務局 狩野みさと、近藤風花
(欠席者)
松永秀夫 (新潟県視覚障害者福祉協会・理事長)
石畑健一 (県立新潟盲学校・校長)
4. 議事
 - (1) 平成 30 年度事業中間報告
 - 【意見・要望】
 - ・サピエにのっていない図書について、公立図書館にあるものをピックアップできるなら、データアップ化して情報の提供ができないか。
 - ・県内の図書館にこれがあるというデータベース化をすることによって視覚障害者の読書環境がもっと良くなるのではないか。
 - 【質問】
 - ・現在テープ図書の受入れはあるのか。
 - ・音楽 CD という形で朗読されたものが出回っており、購入してほしいと要望をあげたが、どうなっているか。
 - (2) アンケート結果について
 - 【意見・要望】
 - ・もっと別の方法で意見を集約できたら良いのではないか。
 - ・アンケートは何年か前に受けたが、けっこう量的には膨大、○×というわけにもい

かないか。

- ・点訳ボランティアを行っている。最近は視覚に訴える本が多い。晴眼者は見ているだけで楽しい。点訳は字面だけを追う。図・イラストは点字にしにくく四苦八苦。
- ・携帯電話やいろんな機器の説明書を点訳していただいた。今は図が多くそれを言葉で説明してもらおう。図の入った書物を点字にするのは大変。個人的には点図は苦手なマニア向け。
- ・図書選定委員は近い方だけを集めるのは好ましくない。メールでやりとりすればここに来る必要はなく、新潟県としての選定ができる。新潟県全体からフレッシュな意見を求めることができる。

【質問】

- ・アンケート対象者はどのように抽出しているのか。
- ・アンケートの電話での回答はどのくらいあるのか。
- ・図書選定委員はどのような基準で選んでいるのか。立候補は出来るのか。
- ・県立図書館ではアンケートは行っているのか。

【情報提供】

- ・東北・北海道ブロックの17館の会議が8年に1度の当番にあたり、施設長・担当者会議を6月に30名ぐらいで実施。9月には点訳のブロック研修会、180名程度参加という大きなイベントになった。
- ・来年度からの第4期指定管理の募集にあたって8月末に提案書を提出。10月のプレゼンを経て、12月の県議会で承認を受ける。視覚センターの利用促進。サービスの充実のためのICT技術の活用。引き続き職員の資質向上、当協会として取り組んでいく優位性を強調した。
- ・現委員会の任期は、来年の5月まで。4回の運営委員会を開催した。

(新潟県視覚障害者情報センターとりまとめ)